

あけましておめでとうございます

謹賀新年

階上地域まちづくり振興協議会

会長 畠山 光夫



新年明けましておめでとうございます。皆様お健やかに佳き新春をお迎える事とお慶び申し上げます。

昨年一昨年同様、新型コロナウイルス対策でまちづくり振興協議会事業も当初の計画通りに実施できませんでした。今年も新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が心配されます。国内を始め景気の冷え込みが予測される中であって安閑とはしてられないの言うまでもありません。

東日本大震災から10年が過ぎ、復旧、復興事業が進み、市道菅蒲沢線、船原森2号線、北最知2号線が開通し、日常生活の利便性が向上することと思われまます。市道整備に於いては、毎年市当局の5カ年計画により整備していただいております。東日本大震災の復旧復興事業も終盤となりまますので、提出しております提言書の見直しと、皆様のご意見を反映させ再度新しい提言書をまとめ市当局に提出してまいりたいと思っております。

去る11月23日に開催されました、階上地区の一大行事である荒磯まつりは、各団体、実行委員、運営委員、出店者皆様の一致協力による奮励努力により多くの来場者を迎え開催することができました。この一致団結が階上地区の宝であり他地域の皆様からも高い評価をいただいております。

福祉の向上を図り地域の経済の活性化を目指してまいりたいと思っておりますので尚一層のご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、今年も皆様にとりまして幸せに満ちた一年になりますようお願い申し上げます。して年頭のご挨拶いたします。

新年のご挨拶

階上地域まちづくり振興協議会

副会長 小野寺 有一

旧年中は階上地域まちづくり振興協議会に対しましてご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。

震災以後、階上には大きな集客施設ができ、新しい年にもさらなる成果が期待されています。震災遺構伝承館には、令和3年4月から12月まで約3万5千人の来館者がありました。中でも教育旅行としてのニーズが高いものがあります。全国から小・中・高生のみならず各種団体、グループが訪れ、津波の恐ろしさや備えの大切さを学ぶ場としてその価値が広く認められています。気仙沼市パークゴルフ場には、令和3年4月から12月まで約2万5千人の来客があり盛況を呈しています。市内にとどまらず、登米市や栗原市や石巻市、さらには岩手県からも多くのパークゴルフマニアが集まっています。階上パークゴルフ愛好会も約86名の会員がいて大いに利用しています。また、昨年11月の荒磯まつりには、主催者発表で約3千5百人の来客がありました。加えて、令和4年度に予定されている御伊勢浜海水浴場再開も含め、この集客能力を最大限に利用し階上地域のさらなる活性化に力を注いでいきたいと思っております。様々なご意見ご指導ご鞭撻を本会にお寄せいただきますようお願いいたします。

本会は、畠山光夫会長を先頭に階上7つの自治会が手を携え足並みよく進んでいくことを大事にしております。今後とも「オール階上」で取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

【発行元】

階上地域まちづくり振興協議会
会長 畠山光夫
〒988-0222
宮城県気仙沼市長磯船原20
電話 080-9555-7444
公式ホームページ
<https://www.hashikami-machikyo.jp>
Facebook ページも
ございます。



まち協フェイスブック

語り部部会勉強会 特別講演会

「心に伝える・残す話し方講座」開催



18日 震災の語り部の様子

階上地域まちづくり振興協議会語り部部会は、12月18・19日、元NHKアナウンサーの山根基世さんを講師に迎え、語り部勉強会を開催した。山根先生は、永きにわたりアナウンサーとして、ニュース、ドラマのナレーション等、多くの番組を担当し、平成17年にNHK初の女性アナウ

ンス室長に就任。NHK退職後は、絵本の朗読会など、地域とともに子ども言葉の言葉を育てる活動や言葉に関する数々の著書を執筆し活躍している。

18日は、語り部部会が杉ノ下慰霊碑で毎月11日の月命日に開催している「震災の語り部」を見学し、小野寺敬子さんと三浦祝子さんの語り部を体験した。津波から間一髪避難する話や、旦那さんとの思い出話や、その後の心境の話のときは目を潤ませる姿が見られた。19日には、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で階上中の生徒による

ガイドを体験した。その後の意見交換では、中学生から「緊張して早口になってしまふ。」と相談されると、山根先生は「緊張は自分もする。早口もあなたの持ち味。おなかから声を出せばおのずとゆっくり話せます。」とアドバイスした。

午後は「心に伝える・残す話し方」と題した特別講演会を開催。これまでの様々な経験から、「声」「言葉」「想い」の重要性についてお話いただき、優しい語り口と心にスッと入ってくる声であったという間の60分だった。山根先生は「相手の心に伝えるには伝えたいという想いが大切。うまく話そうとする必要はなく

自分の言葉で普段の話し言葉で語る事が一番伝わる。」と話した。

特別講演会には、まち協・語り部等の関係者だけでなく、一般の方も聴講し、言葉の大切さについて考える貴重な機会となった。



19日 特別講演会の様子



語り部ガイドの様子

～お知らせ～

「階上出身議員との懇談会」

日時：令和4年1月21日(金)

午後6時～7時30分

会場：森前林自治会館

出席議員：宮城県議会議員 守屋守武氏

気仙沼市議会議員 菊田 篤氏

気仙沼市議会議員 佐藤俊章氏

申し込み：まち協事務局へお電話にてお申込み下さい。

電話：080-9555-7444

(平日 午前9時～16時)

★詳細は別紙チラシをご覧ください。

寄付金贈呈式

12月11日、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館にて、寄付金贈呈式が行われました。

寄付されたのは、伝承館の受付横に設置していた募金箱に「伝承活動の継続へ」と来館者から寄せられたもので、贈呈は今年度3度目になります。

いただいた寄付金は、今後震災伝承や防災にかかわる活動に活用させていただきます。



贈呈式の様子